

春夏秋冬



武蔵野会ニュース No. 172 平成31年1月15日

発行 社会福祉法人武蔵野会

本部 東京都八王子市台町1-19-3 TEL042(623)8509

<http://www.musashinokai.jp/>

新年のごあいさつ



「てづくりファッションショー」
生活支援センターすてっぷ

トピック

新年に思う「政治への関心が 極めて重要な時代」

今年（2019年）4月には新しい元号が発表されるようです。どんな時代に突入するのでしょうか。私が生まれたのが1954年。どうあがいても次の世紀は見られませんが、これから生まれてくる子どもたちは、22世紀に向かって時を繋いでいきます。私が生まれる1年前に日本ではじめてテレビの放送が始まりました。もちろん白黒で、一般には普及していませんでした。5才ぐらいに、近所の家に集まってみんなで見た記憶があるくらいです。

その時代に、今日のAIの時代を予想した人はいたのでしょか。そう考えると科学分野の22世紀は想像もできません。しかし、少子高齢社会による労働力の減少と経済への影響、温暖化による自然破壊、確実に来るだろう自然災害、貧富の差の拡大に起因するテロ等の社会不安の増加やそれに伴う世界の右傾化による戦争の危険性等々の課題は容易に想像できます。

これから生まれる子どもたちに、どんな時代を用意できるかは今を生きる大人の責任だと思います。科学の進歩が世界の発展に繋がるとは限りません。ある日本の科学者が、現代の人間に最も欠けてきているのは、人の心を想像する能力だと言いました。その通りに、自分だけが、自分の国だけが繁栄すればいいという空気が強くなっている気がします。

新年にあたり、遠くの繁栄への空想に酔うことなく、今、明らかな課題に確実に対応することが我々大人に求められていると改めて思いました。これから生まれてくる子どもの幸せのために、有権者の政治への関心が極めて重要な時代だと思います。

社会福祉法人武蔵野会 理事長 高橋 信夫

謹賀新年

理事長 高橋 信夫



明けましておめでとうございます。私事ですが、

毎年、新年3日には、静岡の実家から程近い、駿河の戦国大名今川家の菩提寺で、少年徳川家康（竹千代）が人質の時、学んだ寺としても有名な臨濟寺を妻と訪れます。各地の寺から集まる修行僧が一堂に会した修行に立ち会うことができるからです。地元でもあまり、知られていないようで見学者は妻を含めて毎年5、6人程度です。1時間程度の読経を聞くだけですが、修行の足りない自分を戒め、今年も頑張ろうという気になります。

日本の福祉も武蔵野会も課題山積ですが、新年にあたり、地道に取り組みたいと思えました。本年もよろしくお願いいたします。

後援会会長・評議員

石谷 暢司



新春を寿ぎ、後援会会員と協力者の皆様の絶大なご支援に

深く感謝申し上げます。武蔵野会後援会は、武蔵野会が社会福祉法人としての使命である、より良い福祉社会の実現に向けて力を発揮できるように日々物心両面で応援する組織で、武蔵野会を包括的にサポートしています。後援会に寄せられた会員の会費と協力者の寄附金、施設や協力店に設置された募金箱への募金、使用済み切手の収集など、様々な物品を換金して、毎年継続して武蔵野会に寄付をし、特に人材確保と育成・研修など法人の活動に寄与しています。本年も何卒よろしくお願い致します。



法人役員挨拶 (順不同)

【理事】



青木 秀雄
(明星大学教授)



金森 仁
(弁護士)



今坂 康志
(医師)



上野 純宏
(前理事長)



我妻 弘
(練馬福祉園施設長)



中山 政夫
(本部長)



峯尾 常雄
(八王子市中心障害者福祉センター所長)



山内 哲也
(リアン文京総合施設長)



山田 貴美
(本部長)

【監事】



春日 完和
(元首席家庭裁判所調査官)



谷口 健吉
(税理士)



【評議員】



青木 昌子
(元理事長)

明けましておめでとうございます。法人、利用者のため、少しでもお役に立つことに惜しみなく協力致します。



井上 明子
(弁護士)

新年、あけましておめでとうございます。本年は、改元という大きな変化のある年ですが、変わるべきものと変わるべきでないものを見極めながら、前に進んでいければと思っています。本年も、どうぞよろしくお願いいたします。



久保健 一郎
(慶応義塾大学医学部専任講師)

受け持つ授業で一番長く続けているのは、今坂理事から受け継いだ、明治学院大学社会福祉学部での講義です。明治学院大学の理念は「Do

for Others」。武蔵野会の理念に通じるように思います。本年が皆様にとって良い年となりますように。



小林 隆猛
(東京都民生委員児童委員連合会 常任共議員)

新年あけましておめでとうございます。昨年は白鳥福祉館20周年記念式典に出席致しました。今年は西水元やめ園20周年おめでとうございます。微力ながらお役に立てれば幸いです。本年もよろしく申し上げます。



中村 文子
(NPO法人東京都自閉症協会理事・NPO法人若駒ライフサポートわかこま相談支援室)

新年明けましておめでとうございます。社会情勢が目まぐるしく変化する中、福祉のあるべき姿を今年もしっかり見守っていききたいと思っております。皆様のご健康とご多幸をお祈りしています。



西野 榮男
(元八王子市社会福祉協議会常務理事)

新年明けましておめでとうございます



原田 正樹
(日本福祉大学教授)

地域共生社会の実現にむけて、社会福祉法人の役割や期待は大きくなっています。今までの制度の枠だけにとらわれず、次の時代の社会福祉のあり方が模索されています。武蔵野会は、常に時代を切り拓き、地域や社会のニーズに応えてきました。飛躍する一年でありますように。



福山 雅史
(東京都石神井学園施設長)

新年おめでとうございます。今年の後半からは新しい元号がスタートします。そんなことも意識しながら、新たな気持ちで、できる限り謙虚で誠実な日々が送られればよいと願っております。本年もどうぞよろしく申し上げます。



渡邊 瞭
(元エーザイ株式会社顧問)

近年、企業における「製品検査データの改ざん」が数多く露見し、技術大国日本の信用が揺らぎ、コーポレートガバナンスの見直しが求められています。一方、スポーツ界、企業、社会福祉法人でのパワハラ、セクハラなども大きな問題として取り上げられました。順調に見える時ほど事件は起こります。武蔵野会でも常に身の回りを点検し、職員全員「気を引き締めて、明るい一年にしましょう！」



横山 宏
(東京都社会福祉協議会副会長)

昨年起きた数々の自然災害は、地域の福祉施設にも及び、多くの利用者の方々が被災されました。施設の防災は大切です。様々な施設を擁する武蔵野会としても、災害に強い安心して過ごせる場であり続けることを願っています。



世田谷区立烏山福祉作業所
施設長 野々村武志



世田谷区立駒沢生活実習所
施設長 木村文孝



八王子生活実習所
施設長 岡部智彦



練馬区立北町福祉作業所
施設長 村山俊彦



すぎな愛育園
施設長 福元 與



練馬区立光が丘福祉園
施設長 横尾泰朗



リアン文京
総合施設長 山内哲也



練馬福祉園
施設長 我妻 弘



大島恵の園
施設長 大島安彦



八王子福祉作業所
施設長 松岡利明



千代田区立障害者福祉センター「えみふる」
施設長 高橋道也



法人本部職員



西水元あやめ園
施設長 富山孝行



武蔵野児童学園
施設長 金子陽介



きね川福祉作業所
施設長 大和田卓



練馬区立大泉町福祉園
施設長 宮原康輔



八王子市心身障害者福祉センター
施設長 峯尾常雄



世田谷区立九品仏生活実習所
施設長 山内ゆきみ



小平福祉園
施設長 多々良康子



希望の里
施設長 野田久美子



第2大島恵の園
施設長 安田喜人



練馬区光が丘障害者地域生活支援センター「すてっぷ」
所長 石野哲朗



さくら学園
施設長 川野文幸



文京福祉センター江戸川
施設長 野村美奈



世田谷区立世田谷福祉作業所
施設長 伊藤久美子



東堀切くすのき園
施設長 金澤正義



白鳥福祉館
施設長 吉倉美佐子

明けましておめでとうございませす
本年もよろしくお願いたします
社会福祉法人武蔵野会職員一同

白鳥福祉館20周年

開設20周年を迎え、11月20日に施設内において記念式典を開催しました。ご来賓の青木区長はじめ地元町会の皆様、法人理事長、本部長、評議員、同区の施設長、そして、利用者ご家族、職員と総勢70名に参加いただきました。

式典では、当施設の事業のひとつ、身体障害者デイサービスでボイストレーニングの講師を務める梅原智昭氏によるデejュリドゥーという世界最古の管弦楽器を使った演奏会を催し、重厚ながらどこか柔らかな、不思議な音色が会場を包みました。当施設では、開設当初より地域とのつながりを大切にし、地域交流の一環として地元の行事に積極的に参加し、交流を重ねてまいりました。特に今年度の施設主催のお茶亀まつりでは、



世界最古の柔らかい音色

その一年前より地域のこども会を中心に一緒にダンス練習を重ね、当日には、利用者と一緒に盛り上がる事ができ、地域の中で共生してゆく確かなつながりを感じることができました。一方で20年の歳月は利用者ご家族の皆様の高齢化につながり、お元気だった方が車椅子生活になったり、入浴を自ら行うことが難しくなったりと、その生活も大きく変化してきました。地域の関係機関との連携がますます重要性を増して来ております。

今回の式典を経て、歴史の重みを感じるとともに葛飾区はじめ各関係者の皆様、ご家族の皆様には改めてお礼申し上げます。これからも利用者ご家族の安心、安全な生活、そして笑顔豊かな日々の実践に努めてまいります。

とっておきの音楽会 鳥山福祉作業所

「とっておきの音楽祭東京世田谷IN鳥山」が都内で初開催として鳥山で開催します。2001年に宮城県仙台市ではじまったこの音楽祭は障害者が参加するストリートでの音楽祭として、開催地が全国に広がりにながら、昨年第17回目を迎えました。心のバリアだけではなく建物のバリアも取り払う思いにあわせ、商店街・ビルの前・公園などをステージとしながら街を行き交う人が観客となる音楽祭です。共生社会を支える人と人との思いやり、笑顔と音楽、そして感動に満ちた時間と空間の共有。そこから生まれる確かな心のバリアフリーを目指して



鳥山福祉作業所

製造しているジャムが「世田谷産の果実たちで作ったジャム」として世田谷みやげに認定されました。区内のたくさんの方からご寄付をいただいた果実を感謝の気持ちを含め、収穫・製造・販売の工程を行っています。

西水元あやめ園

高齢者が自分らしく暮らし続ける地域作りとして「認知症カフェ」を行っています。今回、ご家族にもご参加いただけるよう、日曜日に「芋煮会」を開催しました。地域の皆さんと一緒に芋煮鍋とおにぎりを作り、楽しい交流会となりました。

リアン文京

リアン文京は文京区役所内に二つの活動拠点を確保しました。一つは障害者会館、もう一つは12月10日にオープンした売店「福祉の店（文京シビック店ぶんぶんストア）」です。お近くまで来たら是非お立ち寄りください。

大島恵の園

南部地域のボランティアさんを招き、利用者の皆さんとピザレクを行いました。生地作りからトッピングまで手作業で行い、園のピザ窯を使い60枚以上焼き上げました。利用者の皆さんはボランティア



2019 3.16-17
会場 鳥山福祉作業所
観覧無料・雨天縮小
前夜祭 3.16 sat. 15:00-19:00
当日 3.17 sun. 10:30-16:00
フナーレ 17:00
主催：とっておきの音楽祭 東京世田谷 IN 鳥山実行委員会 / 共催：世田谷区・葛飾区・荒川区・墨田区

就労定着支援事業

八王子福祉作業所

昨年10月より就労定着支援事業を開始しました。今年度4月より新たに創設されたもので一般就労し6ヶ月経過後から利用でき、12月より4人の方と契約を結びました。この事業は就労移行支援等を利用し、一般就労に移行した方の就労に伴う生活上の支援ニーズに対応できるように、事業者・家族との連絡調整等の支援を行うものです。具体的には利用者との相談を通じて生活面の課題を把握す

るとともに、企業や関係機関等との連絡調整やそれに伴う課題解決に向けて必要となる支援を実施します。利用者の自宅・企業等を訪問することにより、月1回以上は対面支援を行います。加えて月1回以上は企業訪問を行うよう努めることとされています。利用期間は3年を上限とし、経過後は障害者就業・生活支援センター等へ引き継ぎます。

今までは一般就労した場合、就労移行支援事業所等は退所となり障害者就業・生活支援センター等へ引き継ぎ、6ヶ月間は就労が安定するまで支援を行うことになっていました。しかし実態としては、それ以降も定期的にOB会を開き就労者の状況を把握したり、必要な方には関わりを持ち支援を継続していました。この事業ができたことにより、事業所が独自で行っていた6ヶ月以降の定着支援が、制度となったことは有意義なことでしたが、この制度が開始されることにより就労定着支援体制加算がなくなり、支援の実態は変わらないのですが減収になってしまうのは経営的には厳しいところです。

アの方と関わることができ、笑顔にあふれていました。

武蔵野児童学園

年が明けると新年度もすぐそこです。進学する児童、新しい学年に進む児童、学園から飛び立つ児童、それぞれに期待と不安を胸にその日が来るのを待っています。子どもたちを迎える未来が、豊かで笑りの多いものとなりますように。

さね川福祉作業所

利用者自治会の活動が活発になってきました。自治会役員の計画が皆に承認され、先日は葛飾警察による交通安全教室を所内で開催し、皆が真剣に耳を傾けました。社会資源を活用した幅広い利用者の活動をさらに支援していきたいと思えます。

さくら学園

暮れになると日中班毎に忘年会を兼ねた食事があります。さくら学園では平均年齢が58歳になりました。元気な方は外で食事会、介護度が高い方は園内で食事会をします。園内ではLEOCさんが常食、ソフト食、やわらか食と利用者に合わせて食べやすい食事を提供してくれます。



お一人ずつ名前を記載したお書き置き

お知らせコーナー

1月

5日(土) 成人を祝う会 (八王子生活実習所)
 11日(金) 新年会 (東堀切くすのき園)
 新年会・新成人を祝う会 (世田谷福祉作業所)
 18日(金) 新成人を祝う会 (東堀切くすのき園)

2月

2日(土) 実践事例報告会 (葛飾地区)
 16~19日(土~火) 第4回くすのきART展 (東堀切くすのき園)
 22日(金) 実践事例報告会 (八王子地区)
 24日(土) 福祉避難所訓練 (東堀切くすのき園)
 26日(火) 音楽会 (八王子生活実習所)

年が明けた1月9日、法人理事長、法人本部職員並びに八王子地区施設長一同が八王子市役所に石森孝志市長を表敬訪問いたしました。高橋信夫理事長から最新版の法人広報紙とパンフレットをお渡しし、福祉を取り巻く社会情勢について懇談のお時間をとっていただくことができました。石森孝志市長には、お忙しいスケジュールの中にも拘わらず、にこやかにご対応いただき大変ありがとうございました。



八王子市長表敬訪問

ございました。法人職員一同、八王子市の福祉の向上に貢献していく決意を述べてさせていただきました。



石森孝志八王子市長に表敬訪問させていただきました

故廣本評議員

お別れ会

昨年10月3日に逝去された、故廣本評議員のお別れ会を、12月13日、立川のホテルで法人として行いました。

故廣本評議員は、当法人の富士学園(現さくら学園)、東京苑(現さくら学園)の施設長を歴任され、平成16年からは理事、29年度からは評議員として、武蔵野会に多大な貢献をされ、法人の歩みを一番良く知っている役員でした。

お別れ会では、廣本様との思い出を参加者がそれぞれ話しましたが、陰日向の無い、誰に対しても



弔辞の後、献花でお別れをしました

暖かく接する廣本様の人柄を偲べるものでした。廣本様のご尽力に比べられるよう、私たちは法人、施設の運営を真摯に進めていきます。

ボランティア紹介

八王子生活実習所

現在八王子生活実習所には近隣のボランティアの方がお一人手伝いに来ていただいています。その方のお名前は大石さん。以前、特別支援学校で教員の補助として子供たちの勉強のお手伝いをしてきたとのこと。実習所では主に環境整備を行っていただいています。が、「お世話になった地域社会に何か恩返しをしたい」と門をたたいて下さいました。「お掃除いつもありがとうございます」職員一同、心から感謝申し上げます。

武蔵野会後援会

社会福祉法人武蔵野会が経営する25施設と6つのグループホームの利用者のために、より良い環境や施設の充実・施設の円滑な運営などを、物心両面から支える組織として、武蔵野会後援会があります。皆様のご理解とご協力により、会の拡大をはかり、法人の運営基盤の確立を応援していますので、ご協力をお願い申し上げます。

〒193-0931
 東京都八王子市台町 1-19-3
 電話・FAX 042-626-9772